

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成24年度～平成28年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（るもい） 留萌森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 留萌北部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の北西部に位置する留萌森林計画区の国有林野104,953haである。</p> <p>この地域は、ピッシリ山（1032m）を最高峰とし、天塩川、遠別川、羽幌川の集水域となっている低山性の緩やかな山地で、ミズナラ・イタヤカエデ・ヤチダモ・カンパ類・トドマツ等が混交する天然林とトドマツ等の人工林で構成されている。河川の上流部を占める国有林野は、下流域の町村の水源になっているとともに、農地や沿岸環境の保全に配慮する必要があるとあり、水源かん養機能及び山地災害防止機能の発揮が期待されている。また、またラムサール条約登録湿地であるサロベツ湿原の西部に位置する海岸砂浜林については、特異な森林生態系を有しており、貴重な自然環境の保全を図ることが期待されている。</p> <p>本計画区では、冬の北西季節風の影響等により、人工林に侵入してきた広葉樹との混交林化が進んでいる林分が見られる。このような林分の取扱いに当たっては、公益的機能発揮の観点から成長の促進を図るため、適切な間伐によって針広混交林として健全な森林を造成するとともに、既に広葉樹の割合が高い林分については、広葉樹林への誘導を促進することが必要である。</p> <p>さらに、再生可能資源としての重要性が高まりつつある木材等の林産物の持続的な供給や森林整備を通じて、地域産業の振興等に寄与することも期待されている。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">1,158 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>15,667 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>45.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>10.5 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,612,700 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,158 ha			保育面積	15,667 ha		路網整備	開設延長	45.4 km			改良延長	10.5 km	総事業費			1,612,700 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,158 ha																				
		保育面積	15,667 ha																				
	路網整備	開設延長	45.4 km																				
		改良延長	10.5 km																				
総事業費			1,612,700 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	13,124,420 千円																					
	総 費 用（C）	1,600,710 千円																					
	分析結果（B / C）	8.20																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

別紙様式 7

整理番号 4

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業  
 事業実施地区名：留萌森林計画区  
 （都道府県名：北海道）

事業実施主体：北海道局  
 留萌北部森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	2,319,717	
	流域貯水便益	999,378	
	水質浄化便益	1,701,743	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,134,960	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	542,021	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	227,284	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	652,526	
	木材利用増進便益	20,343	
	木材生産・確保増進便益	234,030	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	3,647	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	230,383	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	579,755	
	森林管理等経費縮減便益	6,550	
	森林整備促進便益	344,643	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	361,470	
総便益(B)		13,124,420	
総費用(C)		1,600,710	
費用便益比(B/C)		8.20	

